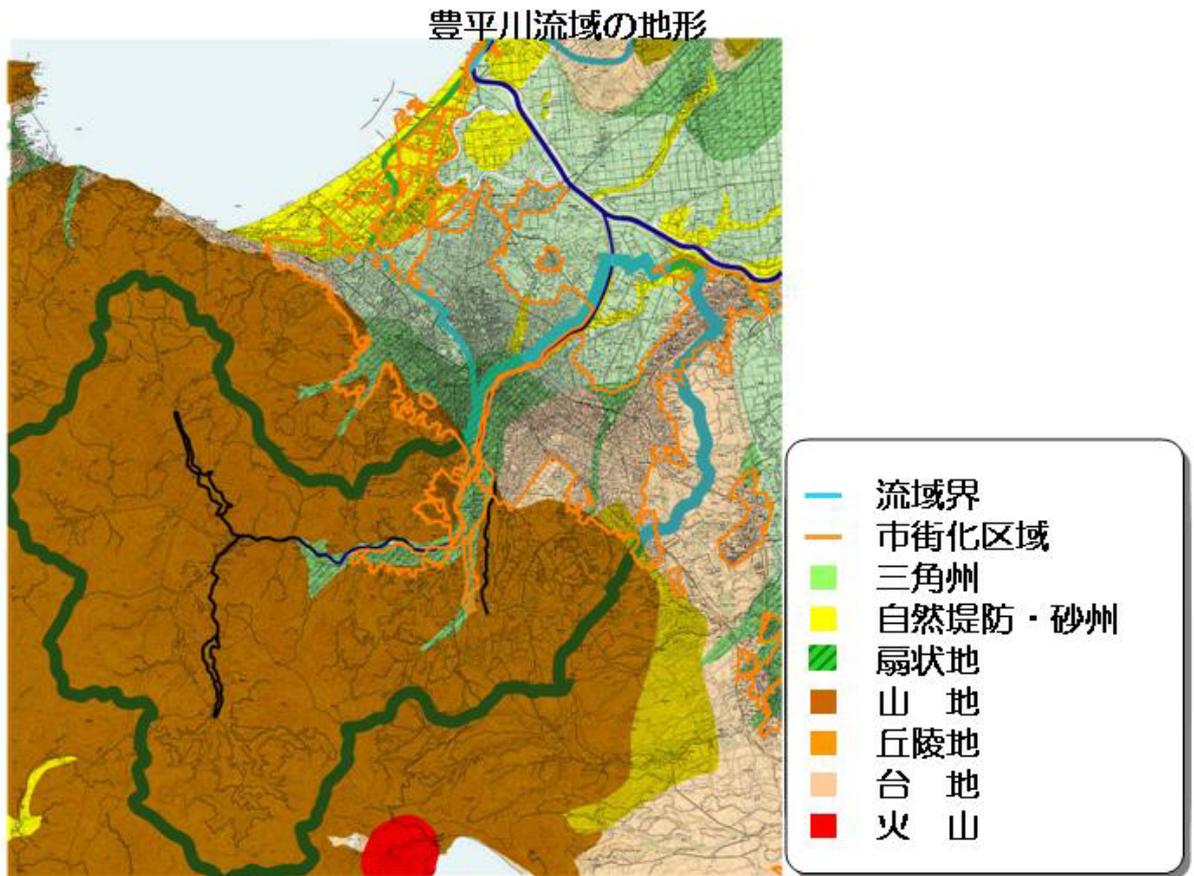


## 豊平川流域の地形



豊平川の上流域には、南は支笏湖近辺、北は朝里近辺までの広大な山地があります。そしてこの山地から豊平川の急な流れにより運ばれてきた土砂が、平野が開けるところに堆積してできた、この地図の中央に濃い緑色で示した藻岩付近から JR 線付近までの地形を、扇状地と呼びます。この扇状地は豊平川と同様に南から北にかけて勾配をもった地形となっていますが、豊平川の伏流水である地下水が豊富なため、古くから市街地が開けてきた地域でもあります。

豊平川扇状地よりも北の日本海にかけては石狩川・豊平川や支川が作った沖積平野が広がっており、昭和 40 年代より近年にかけて市街化が進んできました。